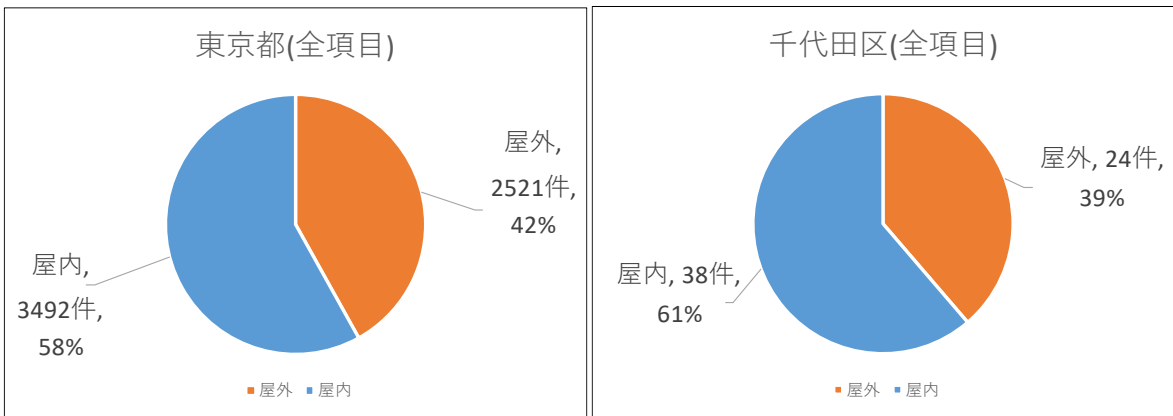


発生場所別（屋内・屋外）熱中症による救急搬送人員（令和4年実績）

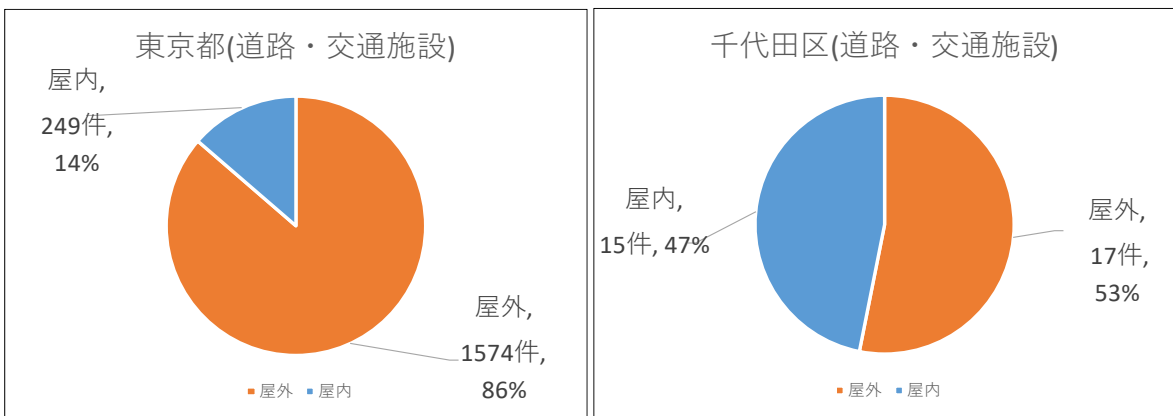
1) 全ての熱中症による救急搬送人員数の屋外・屋内発生場所別の割合（東京都、千代田区）

全ての熱中症による救急搬送人員数のデータを屋外・屋内に分類すると屋外での発生は、東京都で全体の42%、千代田区で全体の39%となり、ほぼ同様の傾向にあることが確認できました。



2) 道路・交通施設で発生した熱中症による救急搬送人員数の屋外・屋内発生場所別の割合（東京都、千代田区）

道路・交通施設のデータを屋外・屋内に分類すると屋外での発生は、東京都全体では86%であるのに対し、地下鉄駅などの多い千代田区では全体の53%と低い比率になることが確認できました。



3) 住居等居住場所のうち屋内で発生したものと、それ以外の場所で発生した熱中症による救急搬送人員の割合（東京都、千代田区）

住居等居住場所の屋内での発生は、東京都全体では 38%であるのに対し、千代田区全体では 6%となり、東京都全体の値と比較すると少なくなっていることが確認できました。

これは、高齢者への熱中症予防訪問などの対策の効果や区外から流入する通勤・通学者が多いことなどが要因となっている可能性があると考えます。

